

県立赤城公園の活性化に向けた基本構想の策定について

県立赤城公園を活性化させ、持続可能な公園を目指すための「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」を策定しました。

昨年度末に公表した原案に対し、パブリックコメント等により、たくさんの意見をいただいたことから、その内容を踏まえ見直し作業を行ったものです。

今後、この構想に基づき各種施策を推進し、多くの方楽しんでいただける公園を目指します。

1 主な見直し内容

- ・自然を保全・保護するエリア、利活用するエリアを整理
- ・覚満淵、小沼は自然環境の保全を図るエリアとして施設整備等は行わず、大沼湖畔とビジターセンター周辺のエリアを活用して施設整備
- ・表現、表記を分かりやすく整理
- ・その他全体の構成を整理

2 構想の概要

(1) コンセプト

生きがいやウェルビーイングなど、これからの共感価値を取り込み、自然環境の保全・保護に配慮した利活用を図ることで、公園の魅力を引き出す「赤城ウェルグラウンド」を目指す。

(2) 拠点施設

①大沼キャンピングフィールド

大沼湖畔のキャンプエリア 100 サイト、管理棟、サニタリー棟ほか

②赤城ランドステーション

山頂エリア全体の拠点施設、総合受付窓口機能、ショップ、カフェほか

なお、基本構想全体資料は、県HPに掲載しました。

HP : http://www.pref.gunma.jp/houdou/e24g_00110.html

3 今後の取組

- ・拠点施設の基本設計、実施設計に着手し、早期オープンを目指す
- ・今後、官民共創をさらに進めることにより機能拡充を検討

